

平成 30 年度 第 3 回 公共調達監視委員会議事録

日 時：平成 31 年 2 月 27 日（水） 14：00～15：00

会 場：鹿児島合同庁舎 第 2 会議室

出席委員：采女 博文（鹿児島大学名誉教授）
大脇 通孝（弁護士）
森 征一郎（税理士）

1 開会

2 委員長の選出

委員の互選により、采女博文委員が委員長に選出された。

3 審査

事務局から、今回の審議案件は平成 30 年 7 月から 12 月までに契約が締結された「物品・役務等の競争入札によるもの」10 件、「物品・役務等の随意契約によるもの」1 件の合計 11 件であり、「公共工事の競争入札・随意契約によるもの」の対象案件はないことを説明し、去る 2 月 8 日に開催した公共調達審査会の審議において、全案件について承認されたことが報告された。

(1) 物品・役務等の競争入札案件の整理番号 1, 2, 4, 10 について、事務局の会計第 1 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

【整理番号 1】平成 30 年度 36 協定未届事業場に対する相談指導事業

委員) この事業は今回初めてか。

回答) そうである。

委員) 昨今の過労死の問題や働き方改革を受けてか。

回答) そうである。

【整理番号 4】36 協定等労働基準関係諸届出に関するシステム登録業務委託

委員) 予定価格よりオーバーしている業者があるが、要因は何か。

回答) 恐らく、名瀬署へも出向く必要があり、島内に従業員を抱えていない場合は旅費が高額になるためだと思われる。

【整理番号 10】平成 30 年度第 2 回雇用保険関係業務冊子印刷

委員) 今回の落札者は前回も落札していた。版元を持っていれば有利なのではないか。

回答) 版元の件については、以前同様の指摘を受けたことがあり、それ以降は

仕様書に校正に使用する素材を電子データで渡すことができる旨記載しており、公平性を期している。

委員) 応札は1者だけだが、これまで同様の入札は複数ではなかったか。

回答) この印刷の入札は年2回行っており、毎回、応札は2者だった。入札締め切り前に、毎回応札するもう1者へ応札の有無を確認したところ、書類の準備が整わず辞退するとのことで1者のみとなった。

以上の意見を経て、物品・役務等の競争入札案件の整理番号1, 2, 4, 10は適正と判断された。

(2) 物品・役務等の競争入札案件の整理番号3, 5～9について、事務局の会計第2係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

【整理番号3】鹿児島障害者職業能力開発校における実習用ミシン一式等購入

委員) ミシンという特殊な物品であり理解はできるが、応札が1者だった要因は何かあるか。

回答) ミシンを扱っている業者はいくつかあるが、声かけしたところ、入札参加資格を持っている業者がほとんどなかったためである。

【整理番号7】名瀬公共職業安定所徳之島分室空調機一式取替設置工事

委員) 落札できなかった業者の入札金額は予定価格に近く、落札額と差があるが何か理由があるか。

回答) 奄美大島の名瀬の業者であり、出張旅費が掛かるためだと思う。

以上の意見を経て、物品・役務等の競争入札案件の整理番号3, 5～9は適正と判断された。

(3) 物品・役務等の随意契約案件の整理番号1について、事務局の会計第1係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

【整理番号1】生涯現役促進地域連携事業

委員) 資料に調達事務に関するチェックリストが付いているが、チェック項目を見ると、随意契約の場合も必要なのか。

回答) 入札に関する項目が多いが、随意契約にも該当する項目があるため必要である。

以上の意見を経て、物品・役務等の随意契約案件の整理番号1は適正と判断された。

4 案件の承認

全ての案件について、委員からの異議はなく、適正として承認された。

5 次回公共調達監視委員会の開催予定

平成31年度第1回目の公共調達監視委員会については、平成31年6月頃の開催とし、各委員の日程調整を行ったうえで決定する。

6 閉会